

わたしたちの町

人口(男) 4,605人 (女) 4,963人 合計 9,568人 3月中の転入 38人 転出 118人 世帯数 2,305世帯

(3月末日住民登録調べ)

広報

あいかわ

昭和57年4月21日 第287号 秋田県合川町 編集 総務課 電話 018678-2111

広報は、毎月15日に発行を予定しています。中学校教育会の委託により、各家庭に配布されますので、届かない場合は役場総務課にお知らせください。 広報へのニュースの提供や意見等もおまちしています。



美しい山、豊かな町を 春ヤマ作業スタート

芹沢地内で

残雪の山々に響くチェーンソーの音。町営林作業員の春ヤマ作業がはじまりました。 今年は芹沢字内萩沢で十七・〇ヘクタールの植え付けを計画。補植二十二・六ヘクタール。保育のための作業が五百五十八・七ヘクタールで行なわれます。 現在、町が管理している面積は約千三百ヘクタール。 間伐期に入り、町民の期待もふくらんでいます。 昭和四十九年、秋田県植樹祭の会場になった五条台(西根田)は「展示林」として県内林業家の模範的な管理が行なわれて見学者がふえています。芹沢町有林(木戸石)など収穫できる面積もあり、町の「宝の山」です。 今年の作業員は四十六名。ベテランの山男、山女のみならず、まだ冷たい山の風の中でがんばっています。(写真：新植のための地こしらえ作業に汗を流す)

町営林事業

対話の輪、大きく

各地区で移動町民室

町では三月十八日から四月十五日まで各地区二十五カ所を移動町民室を開きました。町民室には町長はじめ役場の責任者が出席。ひざを交えて、話し合いを行いました。

各地区で町長は「各家庭の未来図と町の未来図を重ね合わせ、町づくりにみんなが力を合わせよう」とあいさつ。多くの意見を求め、必要性の高いものを求める。ために、卒直に意見交換。数十年前の夢や、身近な生活の苦情などが語り合われました。

道路

各地区とも、生活道路の舗装と県道の改良についての要望が多く出されました。県道については、鎌沢バイパスの五十七年度中の用地買収着手を全力あげて要望すると約束。県道側溝の改良についても要望を重ねることにしています。

農業

「転作」という課題をかかえ将来についての不安が多く聞かれました。しかし、野菜・園芸・和牛など新しい部門と取り組んだ意欲的な意見も目立ちました。町長は「農業総合指導センターを中心に、今までの成果をもとに転作の定着をめざす」とのべ各農家にも「すて作りはやめよう」と呼びかけました。

生活の見直し

二年続きの冷害の影響もあつてか、各地区で「生活を見直そう」という声が強くなりました。結婚披露宴の会費制を徹底し

よう。〇酒一升運動をすすめる。〇町内祭典の酒宴日を統一し、ムダをなくそう。など、多くの提言が出されました。

町公民館では農村環境改善センターの運営の話し合いにあわせて、新生活運動の徹底についても協議を重ねています。その中では、「農村環境改善センター」や公的建物は、会費制でなければ貸さない。方針で、検討がすすめられています。

また、部落代表者会議や各団体の話し合いでも、生活の見直しを強く訴えていくことにしています。

その他、各地区とも阿仁合線の存続については強い要望が続きました。企業誘致については喜びの声とともに、さらに働く場所の開発をすすめてほしいという声が多く、福祉の町づくりの推進と県立精神病院の誘致について期待が寄せられています。移動町民室は、残り地区では今秋までに開催を計画。各地区での意見は、整理して各担当で具体的に検討されています。

町民室参加者はのべ七百人。どの会場でも熱心な話し合い(三里部落)



山の幸

湿原にミズバショウが美しい季節になりました。花のように見える純白のものは葉の変化したもので、本当の花はその中に含まれている部分だそう。方言では「ベッコの舌」と呼ばれ「さわると皮膚がはれる」と知られてきました。しかし、夏に熟す実は有毒ですが、若芽は食用になるといいます。 山林に入ると、一面にむらさき色をしきつめて、カタクリの花の群落に出会う季節を迎えます。カタクリの「カタカゴ」という古い呼び名は「傾むいた籠(かご)」に似ている花の形からきたものといわれています。万葉の時代から美しい花として愛され、澱粉(でんぷん)をとる貴重な薬草としても利用されてきました。 アザミ、ボンナ、シドケ、アイコ、ゼンマイ……。名前を聞くと、その風味がただよう山菜の季節です。 この季節、子どもたちと、野山で遊ぶ一日をつくってみてはどうでしょうか。 いっしょにスカンポをかじりながら、その「味」を話し合ってみてください。



町長日記から

行政改革は予想されていたことだが、転作奨励金の打ち切りを示唆した。不良農地の申し訳程度度の転作をしていもの、巨額な国費を継続的に投することがいけないとするわけだが、農家にとっては一大痛棒を喰った感じである。平地地では家の周囲の良質田を転作地として着々にその成果をあげているのに比べて、わが町も、その方式を採用しない。いかり大変なことになる。(義)

毎日が防火デーです ぼくの家

とび出すな心のフレイキくつこふみ

事故と火災のない

明るい町をつくりましょう。

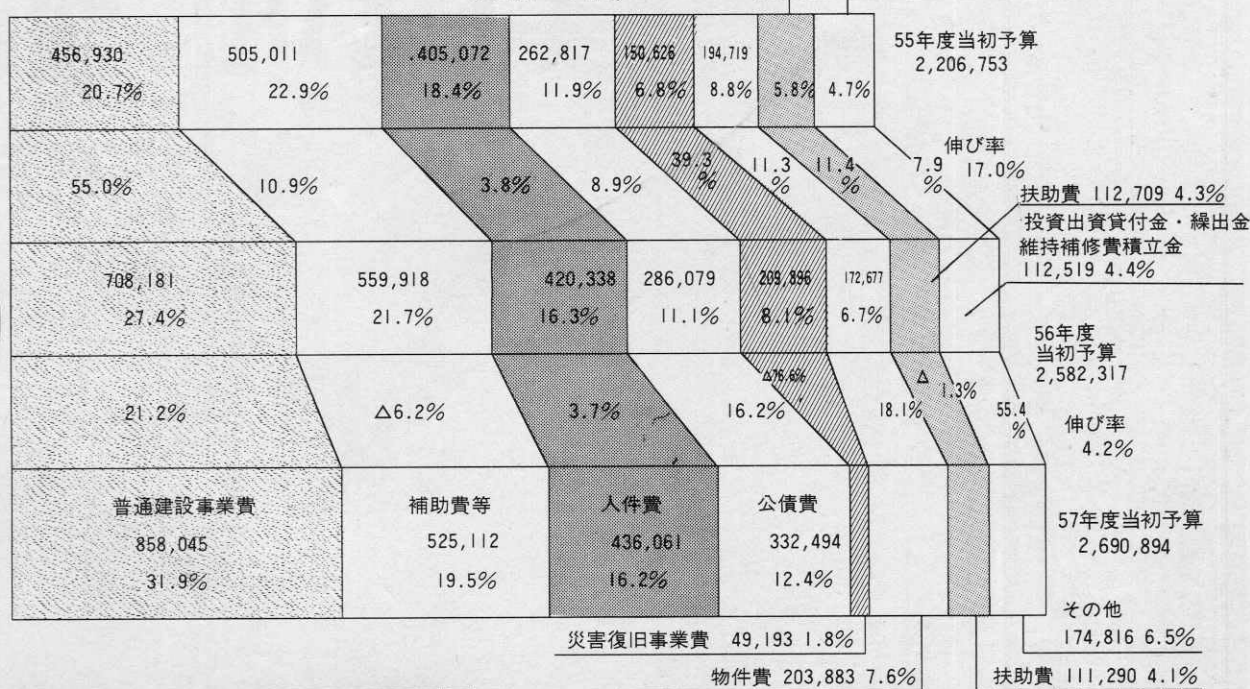
一般会計総予算は26億9,089万4千円

町の今年の予算から

性質別歳出の内訳

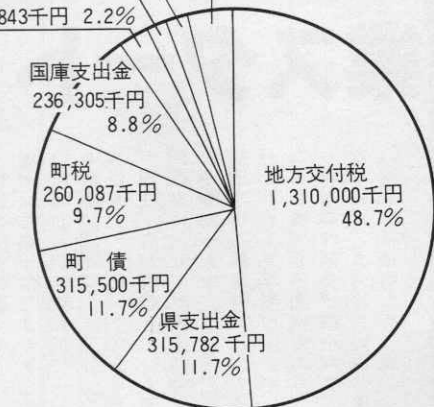
(55年度・56年度当初予算との比較)
建設的事業費が21.2%の増加

(単位 千円)



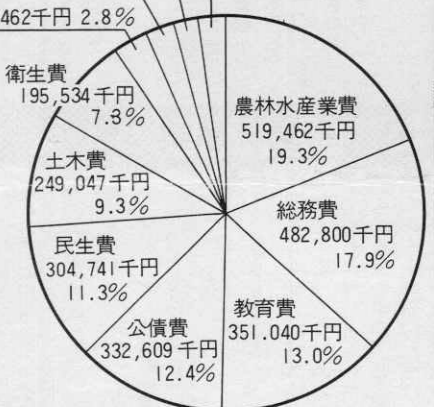
歳入

分担金負担金 42,332千円 1.6%
地方譲与税 46,238千円 1.7%
諸収入 59,843千円 2.2%



歳出 (目的別)

災害復旧費 49,193千円 1.8%
議会費 58,602千円 2.2%
消防費 75,462千円 2.8%



町民税のなかみ

(単位 千円)

町民税 104,063	固定資産税 106,946	たばこ消費税 23,534	木材引取税他 2,477
町民税(法人) 3,913	軽自動車税 4,954	電気税 14,200	

特別会計

(単位 千円)

国民健康保険特別会計 476,288	国民健康保険診療所特別会計 371,038	簡易水道施設事業特別会計 105,291
--------------------	-----------------------	----------------------

たばこは町内で 買いましょう

たばこ消費税はたばこが売られた町に入ります。貴重な収入を守るため。

町民1人当りの 町税と町で使うお金

町税 27,183円
10.35倍

歳出 281,239円

住みよく 明るい町づくり

今年はこの事業を行ないます。

- 農村総合整備モデル事業..... 1億5,072万9千円
農村環境改善センター
- 町道整備事業..... 1億4,802万9千円
大野台駅線・高校線(駅前)・李岱川井線
田ノ沢線(駅前)・木戸石沢線
- 町民体育館建築..... 1億3,595万円
- 山村林業構造改善事業..... 9,332万4千円
林道一三里線・小芦沢線(木戸石)・堤沢口線(芹沢)
休養休憩施設(ハイランド)・集会施設(芹沢)
- 公営住宅建築..... 6,583万円
八幡谷十戸(内、身障者用住宅2戸)
- 公有林整備事業..... 5,531万9千円
新植17.0ha・補植22.6ha・保育558.7ha
- 林道整備事業..... 3,175万5千円
木畑沢線(羽根山沢)
- 農道整備事業..... 6,067万4千円
木戸石・根田・合川西部(三里一増沢)
- 地籍調査事業..... 1,939万1千円
北地区
- 肉用牛生産団地整備事業..... 1,641万1千円
畜舎1棟・カッター1台・ローダー1台・サイロ2基
- 農業構造改善事業調査費..... 705万円
- 入会林野整備事業..... 270万5千円
- 間伐促進対策事業..... 267万6千円
- 新林業構造改善促進対策実験事業..... 301万5千円
樹木園
- 福祉バス・自動車購入..... 644万円
- 陶芸小屋工事..... 56万円
- 保育園整備..... 182万円
- 下水溝整備..... 120万円
- 土地改良事業町負担金(県工事)..... 319万5千円
鎌沢・上杉・芹沢・木戸石 計5.2ha
- 溜池整備事業補助金(下杉)..... 115万円
- 農村環境改善センター備品費..... 400万円
- 休養休憩施設備品費..... 250万円
- 小中学校整備費..... 265万3千円
- 広報無線整備費..... 55万2千円
- 土地取得費..... 3,570万8千円
- 災害復旧費..... 4,919万3千円
- 特別会計
診療所建築費..... 2億1,915万9千円

町民体育館・診療所に着工

農村環境改善センター・保健センターに隣接して

国土利用計画 町民アンケート結果まとまる 豊かな町づくりに幅広い要望

町では自然を守り調和のとれた町づくりをすすめるために、『合川町国土利用計画』の策定をすすめています。この計画に多くの町民の声を反映させるために行った中学生の募集作文と町民アンケートの結果がまとまりました。これらは、これからの町づくりの基礎、ともいえる大切な資料になります。

中学生作文

開発をすすめても 自然をなくさないで

中学生の作文応募者は百八十四名。「十年後の合川」と題する作文には未来への予測と願望がこめられています。作文を内容別に分ける十年後の合川町は、

- ①ビルや住宅地がふえ人口が増える
- ②現在とあまり変わらない
- ③福祉施設の充実がすすむ
- ④自然環境が悪化する
- ⑤汚染がすすみ公害が発生する
- ⑥

町民アンケート

産業開発と健康づくりと

町民アンケートは、町民十世帯当り一人の割り合いで、無作為に二百二十二名を選び、百七十五名(七八・八%)の方が「答」が寄せられました。

問 農業を続けていきたいですか？

続けていきたい 六六・六%
続けない 三三・四%

問 あなたやあなたの家族が望む町の重点政策は？

医療施設と健康対策 一八・八%
商業振興、雇用の開発 二二・九%

問 環境保全は？

満足 六・九% ほぼ満足 四一・八%
どちらとも言えない 二〇・六%
や不満 二二・一%
不満 五・一%



総合的な開発がすすんだ大野台。自然保護との両立が望まれている。

要望多い「道路」

項目別の満足度、不満足では、**保育所や福祉施設**は満足五七・八%、不満一七・一%。都市への交通の利便性は満足二九・七%、不満五三・七%。通学の安全性は満足一八・九%、不満五五・九%。飲料水は満足七二・七%、不満一七・七%。

排水・道路など 身近な課題の解決を

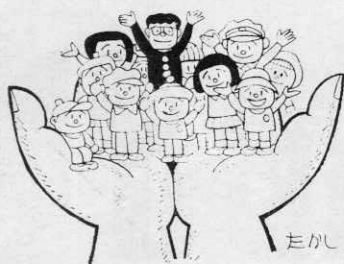
各部代表者からは、当面する課題について提言されています。

施設の要望では、①下水道 ②道路 ③河川等の防災施設 ④子供の遊び場 ⑤交通事故防止施設 ⑥公害防止や交通安全対策の順であげられています。

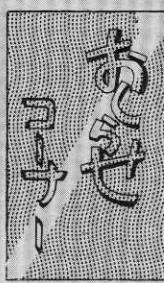
町制施行記念日

功労者 桜田 耕一氏を表彰

五年まで合川町選挙管理委員長。三十二年間の長期にわたる各種選挙の管理と啓発に挺身されました。保健衛生部落は西根田部落。



土地利用や施設の計画については、十七部落で話し合われており、残る七部落では話し合いが必要であると答えています。町内全域で「計画」の重要性が認識され、「土地利用計画」にも高い関心が示されています。



町のこよみ

- 23日 親子読書会
- 26日 ことぶき大学
- 5日 大野台野外音楽祭

国民年金保険料 月五千二百二十円に

年金額の引き上げと受給者の増大にともなう、年金かけ金も引き上げられます。今回の引き上げは一昨年の国会で決められたものです。長い人生を考えた時に年金を積み上げましょう。付加保険料四百円はそのままです。

保険料は納期までに

あなたはもう納めましたか。保険料を忘れると、万一の事故にあつたときに障害年金や母子年金を受けられない場合があります。将来の年金にも影響があります。今ならば昨年の四月から十二月までの滞納分も納めることができます。よく確かめて、役場出納室に納付ください。

特別弔慰金請求は五月七日まで

戦没者遺族特別弔慰金の請求は五月七日までです。お問合わせは、役場福祉課におよせください。

看護婦募集のお知らせ

合川町国民健康保険診療所

町では次のとおり看護婦を募集します。

- 募集人員 二名
- 応募資格 年齢三十五歳までの有資格者(正看護婦及び準看護婦)
- 待遇 合川町給与規定による。
- 勤務場所 合川町国民健康保険診療所

五、応募手続 履歴書(写真添付) 免許証写しを合川町役場総務課まで持参または郵送してください。

六、締切日 四月三十日

七、選考期日 五月八日午後一時三十分

八、選考場所 合川町役場

九、採用予定日 七月一日

ご利用ください 老人居室資金

申込期限 四月二十日(五月十日) 対象 六十歳以上のお年寄り。お年寄りの部屋の増改築が必要で、自力で行うことが困難な人。

貸付限度額 一世帯八十万円

利率 年三% 償還 一年以内の据置期間経過後九年以内元利均等年賦 決定 県老人居室整備資金貸付要綱による 申込書類 一、申込用紙(役場福祉課にあり) 二、申込者と保証人二人の所得及び資産証明書(役場財政課で発行) 三、工事見積書、四、平面図 その他 この貸付金は国民年金積立金選元融資金を活用しているものです。お問い合わせは、役場福祉課におよせください。

身体障害者にハガキを配布

郵政省では身体障害者福祉強調運動に協力して青い鳥ハガキを発行します。重度の身体障害者(一級及び二級・六歳以上)には二十枚がブレンドされ、すので、五月三十一日までに各郵便局に申し込みください。

萩形ダムで想定演習

萩形ダムでは五月十一、十二日、洪水想定演習を行います。通報、操作などの演習で、サイレン、放水は行いません。

環境改善センター 休養休憩施設の利用料

待望の環境改善センター(李岱)と休養休憩施設(ハイランド)が六月一日からオープンします。ご利用ください。三月町議会で決められた利用料金は下表のとおりです。(公益上、特別の理由がある場合は使用料の一部または全部が免除されます。)

区分	基本使用料(4時間)		超過使用料(超過1時間毎)		照明器具使用料
	昼間	夜間	昼間	夜間	
研修室	1,000	1,500	100	150	—
和室	1,500	2,000	150	200	—
生活改善室 種人研修室	2,000	2,500	200	250	—
集会室	15,000	20,000	1,500	2,000	3,000

冷暖房使用料は20%加算、結露は1回につき10,000円

休養休憩施設宿泊料
大人(中学生以上) 2,000円 小学生 1,000円
休養休憩施設使用料 暖房料 200円

区分	午前	午後	備考
大人	8:30 ~ 12:00 12:00 ~ 16:00	12:00 ~ 16:00	①17:00以降の各部屋使用者は1時間につき50円徴収する。 ②暖房料は150円納入する。
学生(高中)	150	150	
小学生(小3以上)	150	150	

つころう遊ぼう 親子でいっしょに

①



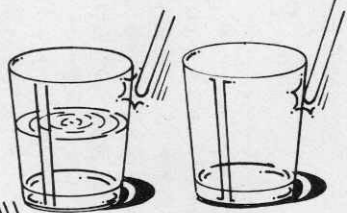
音は友達

グラスでできる楽器

用意するもの

- ガラスのコップ(できれば同じものを8コ)
- 水の入ったやかん
- スポイト
- スティックになるもの(はし・鉛筆・ボールペンなど)

1 水の入ったコップと からのコップをスティック(棒)でたたく。音を聞きくらべてみましょう。



2 どちらのコップの音が高かったでしょうか?

2 コップの水をスポイトで出したり入れたりしながらドレミの音のでるコップを作ってください。



●他の楽器でドの音をだし聞きながらコップの音を調律しましょう。

3 ドの次はレのコップを作ります。続いてミ・ファ・ソ・ラ・シドの音のでるコップを作ります。音の川貝(音階)にコップを一列に並べますとも近承なコップの楽器のできあがりです。

4 それでは、コップの楽器で、キミの得意な曲を演奏してみよう!

●水位を記録しておく、便利です。



このコーナーには、わが家の私の宝ものまたは、今号から始まったつころう遊ぼうをお届けします。

親子読書会へ
四月二十三日(金)午後六時三十分から 内容「やさしい文章のつづり方」講師 合川町教

あなたもどうぞ

児童を読ませたいと考えたらムリのない、幼年童話」を、まず読んであげましょう。本の楽しさを失わせないことが、何よりも大切です。(図書室から)

質問 五歳の子どもですが、いまだに絵本ばかり読んでいます。そろそろ童話を読ませなければいけないと思いましたが、助言 五歳で絵本をおもしろがらないというなら、これは大問題です。五歳にもなったのにまだ絵本、などと言うほうにこそ問題があります。絵本は年代に応じた読み方があり、幼児期に読んだ本をくり返して読むことはとてもよいことです。五、六歳では読み切れない絵本もたくさんあります。小学校一年生になっても絵本はやめさせたくないものです。

町の人
育研究所福岡龍太郎先生 会場 合川町公民館。お気軽にどうぞ。

町の人
三月三十一日付
▽福岡昭二(総務課長)
▽鈴木運動(農業委員会事務局長)
(異動) 四月一日付
▽総務課長(合川高校事務局長) 佐藤昭蔵▽福祉課長(教委事務局長) 工藤博▽合川高校派遣 事務局長(福祉課長) 福岡博▽農委事務局長(建設課長補佐) 成田清二郎▽教委事務局長(福祉課長補佐) 桜田日出雄▽保健課長補佐(教委事務局長補佐) 佐藤熊夫▽福祉課長補佐兼務(西保育園長) 笠井義昭▽建設課長補佐(同主任) 桜田幸男▽福祉課長補佐(総務課主任) 萩野芳昭▽教委事務局長補佐(同主任) 金田功子▽北保育園主任 保母(南保育園) 安部伸子▽南保育園(北保育園) 奥田誠子▽総務課長補佐(保健課) 正田久人▽福祉課主任(教委同) 成田幸子▽財政課主任(福祉課) 成田雄一▽出納室主任(財政課) 成田雄一▽保健課主任(財政課) 松橋隆▽診療所主任(出納室) 木村知剛▽教委主任(診療所) 木村正三▽西保育園(南保育園) 木村サタ▽南保育園(西保育園) 同) 三浦ハナ▽中学校用務員(南小学校) 沢藤美子▽南小学校(中学校) 三浦ヨウ子▽保健センター主任 保健婦(保健課)

お知らせください
わが家の宝もの
大切にしている宝物。家伝の品。贈り物など忘れられない品。他の人には何でもない物でも、その人には大切なものもあること。お知らせください。総務課広報係にお知らせください。

お誕生おめでとうございます
佐藤祐樹 政名長男 川井 杉淵博文 博美長男 駅前 成田みさき 人雄長女 明田 三浦美紀子 剛長女 三木田 鈴木吉太 吉雄長男 川井 原 慎平 公司三男 駅前 新保沙織 哲夫長女 増沢 桜田春奈 忠正長女 東根田 藤岡賢一 茂憲長男 李岱 近藤美弥子 光典長女 李岱 ●謹んでお祝い申し上げます
小笠原孝治 54 本人 増沢 佐藤若五郎 85 本人 川井 安部運吉 86 本人 新田目 米倉イヨ 82 竹良祖母 上杉 桜田 登 54 本人 駅前

国際障害者年を記念して 熱心に手話講習会

昨年からスタートした国際障害者年の記念事業として、町内の奉仕活動者を中心になって、手話講習会を開いています。

十一日の初講座に参加したのは大野台の里職員、入所者、合川高校生など六十名。一般参加者は小学生から七十代のお年寄りまで幅広く、高橋公子専門相談員の指導に真剣な視線をむけていました。

手話は障害者の手助けになるばかりでなく、自分自身の表現の手助けとなるため、学習の輪が広がっています。世話人の一人、山岡俊郎さん(グリーンハウス勤務)は「ひとりでも多くの人に『手話』を学んでほしい」と呼びかけ、福祉の町づくり運動の一環として感謝され、関心を集めています。

講習は六月十二日まで毎週土曜日午後一時半から町公民館で開催。希望者は途中からでも気軽に参加ください。

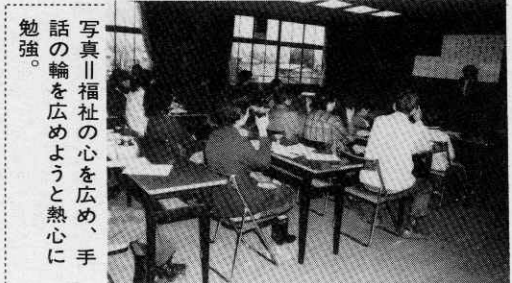


写真 福祉の心を広め、手話の輪を広めようという熱心に勉強。

集おう青空の下に

第4回 大野台野外音楽祭
5月5日午前10時から
大野台野外ステージ

軽音楽・民謡・おどろ・合唱などみんなでつくる楽しい集いです。大野台のデッキ自然と遊んでください。出演 大野台の里入所者の合唱隊、町内外同好者

みんなてつくる

よい心 きれいな合川
ひとつひとつの心がけ

東小学校三年
さいとうなおきさん

福祉の町

「気をつけて」と 新指導車

交通指導隊

町交通指導隊に新指導車が入り、連日、活動しています。旧指導車は十年間にわたって町内の事故防止に走り回り、老朽化がすすんでいました。新車は拡声装置、回転灯など近代的なスタイルが自慢。通行する車や歩行者の気持ちをビリッと引きしめています。

三十一日には新指導車を前に町長が無事故の訓示。シートベルト着用運動などを積極的に展開しますので協力ください。



町長が無事故の徹底を訓示

米倉支部長に 県知事表彰

(議長)

今年の秋田県交通安全功労者に米倉甚逸氏(上杉町議会議員)が選ばれました。米倉氏は昭和四十六年から阿仁部交通安全協会合川支部長。安全運動の先頭に立って活動してこれ、その功績が讃えられたものです。

春の防犯運動

四月二十五日(五月九日)
春です。空果ねらいがふえ、青少年は非行にひきずりこまれやすい季節です。わが家の戸じまりをしつかりと。子どもたちをあたたくしつかりと見つめましょう。

善意のご寄付

(敬称略)

〔香典返しにかえて〕
佐藤徳一郎 川井 (故) 父 若五郎
小笠原タカ 増沢(故) 夫 孝治
米倉竹良 上杉(故) 祖母イヨ
(一般寄付)
正法院御詠歌講一同
〔広報郵送料として〕
秋田市飯島美砂町六 山本幸子
仙台市台原五十七七 成田久直
〔ぞうきん寄贈〕
上杉長寿会・三木田ことぶきクラブ 鎌沢ことぶきクラブ、福田ことぶきクラブ